

東北ブロック会議（令和元年10月4日・山形県：ホテルメトロポリタン山形）

参加者は約100名。はじめの開会式では、主催県を代表して山本絵里子山形県会長があいさつを述べた後、福田益和全専各連会長があいさつの中で、今後、対応が求められる重点課題にふれ、特に高等教育の修学支援制度、高大接続改革、留学生の受入れ及び在留資格の拡大、私立学校法の一部改正などについて言及した。次に、江島清彦東北ブロック長・秋田県会長のあいさつに続き、永年勤続者表彰が執り行われ、表彰者を代表して齋藤明子先生（山形県・山形美容専門学校）より謝辞が述べられた。最後に、吉村美栄子山形県知事（代読）、佐藤孝弘山形市長（代読）、九里廣志（公社）山形県私立学校総連合会会長からの来賓祝辞が述べられた後、来賓紹介、祝電披露が行われ開会式は閉会。

小憩後、総会開催となり、平成30年度事業報告及び収支決算案ならびに監査報告、令和元年度事業計画案及び収支予算案、令和2年度東北ブロック大会開催県の各議案審議がそれぞれ可決され、最後に今泉玲子福島県会長から次期開催県あいさつが述べられ総会は終了。

総会後の研修会は二部構成となっており、はじめの第一部では、金城太一文部科学省専修学校教育振興室長から、「経済財政運営と改革の基本方針2019」などの閣議決定された国の方針にふれるとともに、専修学校の振興施策として、令和2年度専修学校予算概算要求、文部科学大臣認定制度である「職業実践専門課程」及び「キャリア形成促進プログラム」、私立学校法の一部改正等について説明を行った。続いて、全専各連事務局からの中央情勢報告として、6月の全専各連理事会・総会で承認された事業計画を解説するとともに、団体としての今後の方向性について説明。また、高大接続改革や厚労省施策等、国の動向を注視することの必要性や、職業実践専門課程、高等教育の修学支援制度に関連した情報公開など各種制度への積極的な対応を呼び掛けた。最後にTCE財団が行う各種事業を紹介し、積極的参画を要請した。

小憩後の第二部では「高大接続改革を踏まえたこれからの専門学校が求められる方向性とは」をテーマに、株式会社進研アドの松本晴輝専門学校事業部副部長から講演が行われ、研修会を終了した。

最後に、閉会式となり山形県の高橋朝子先生の閉会あいさつにより大会が終了、その後懇親会が行われ全日程を終了した。